

### 道北地域の景気の基調判断を据え置きました

皆さん、明けましておめでとうございます。今年も、このサイトをご覧いただき、誠にありがとうございます。私どもでは、道北地域（上川、宗谷、網走支庁管内）における最新の金融経済情報の発信に努めております。今年も、皆さまに信頼され、役に立つ事務所を目指して、職員一同邁進していく所存ですので、引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、1月8日に公表しました「[金融経済概況（道北地域）](#)」では、道北地域の景気の基調判断を「低迷しているものの、持ち直しの動きが広がっている」として、前月の表現を据え置きました。最終需要項目別の判断を含め、大きな変化はありませんが、仔細にみると以下のような特徴点があげられます。

1. 建築確認申請床面積（居住用）からみた住宅投資が1年ぶりにプラスに転じました。今後の帰趨は予断を許しませんが一つの朗報といえます。
2. 昨年12月14日に公表しました「[短観（道北地域）](#)」結果からみた設備投資計画では、21年度下期計画が、前年同期比で4割方の増加となる見込みとなりましたが、建築確認申請床面積（非居住用）からみた設備投資は大幅に落ち込みました。この計数はこのところやや回復してきただけに、今後の帰趨を見守っていきたいと思います。
3. 個人消費は全体的には厳しい状況が続いていますが、自動車販売が絶好調です。
4. 先月も申し上げましたが、このところ雇用情勢に若干変化の兆しが窺われます。管内一部地域における新規求人が前年同月との対比で増加に転じてきているほか、有効求人倍率が、ここ半年ほど緩やかな持ち直しに転じてきています。もっとも、全体として雇用情勢が厳しい状況であることは変わりません。

いくつかお知らせがあります。

1. 年頭に当たり、また経済エッセイをしたためました。今年、旭川開村120周年という、めでたい年なので、「[年頭所感 2010 : Anniversary ～旭川開村 120 年周年とこれからの 60 年ほか～](#)」とのタイトルをつけました。ご一読いただければ幸いです。
2. 1月7日に「教員のための金融教育セミナー」を旭川では初めて実施しました。金融教育の必要性や、授業で教える際の具体的なポイントについて、わが国での第一人者にご講義いただきました。金融教育の分野は今後益々重要性を増していくものと考えておりますので、今後ご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成 22 年 1 月 8 日  
尾家 啓之